

株式会社 テクノカット

2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年4月～2023年3月)

《 ご 挨拶 》

株式会社テクノカットは、2019年4月より(株)浅井産業グループの一員となりました。当社は高性能切断機を各種揃え、お求めの長さや重量に切断加工して納入しています。冷間及び熱間鍛造による、自動車部品、レジャー関連部品の鋼材の切断、各種素材切断に対応いたします。製品の品質にこだわり、顧客に満足をして頂き信頼される企業を目指しております。

私たちは、環境方針を基に環境活動を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え新たな一歩を歩み出しました。

それらの活動の取り組みを、「環境経営レポート」としてまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に活かして行きたいと存じます。

2023年7月15日

株式会社 テクノカット

代表取締役社長 長岡 昭男



株式会社 テクノカット

環境方針

(基本理念)

私達は地球温暖化への対応や資源の有効活用を事業活動を行う上での重要課題と考え、人々が明日、未来へと存続するために環境保全が人類共通の課題であることを認識し、環境に優しい会社として、目標を持って環境経営を継続的に推進します。

1. 環境関連法規制、及び当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減、消費エネルギーの削減に取り組めます。
3. 処理委託廃棄物の分別と削減に取り組めます。
4. 排水量、水使用量の削減に取り組めます。
5. 化学物質使用量の削減に取り組めます。
6. 製品の環境配慮に取り組めます。
7. 工場周辺の清掃活動に取り組めます。

制定日：2019年4月1日

改訂日：2023年4月8日

代表取締役社長

長岡 昭男

2. 事業活動の規模

(1) 名称及び代表者名

株式会社 テクノカット

代表取締役社長 長岡 昭男

(2) 所在地

本社・工場 群馬県佐波郡玉村町大字小泉17番地2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	製造部 部長	塩野 満明	TEL:0270-65-3549
担当者	製造部	富田 幸生	TEL:0270-65-3549
	製造部	大川 龍喜	

(4) 事業内容

冷間及び熱間鍛造による鋼材・非鉄金属材のビレット切断

(5) 事業の規模

製品出荷額	59,741,164 円/年				
	本社・事務所	現場・事務所	本社・工場	倉庫	端材材置場
従業員	1名	0名	5名	0名	0人
延べ床面積	50.02㎡	50.02㎡	1,853.4㎡	161.3㎡	358.67㎡

(6) 事業年度

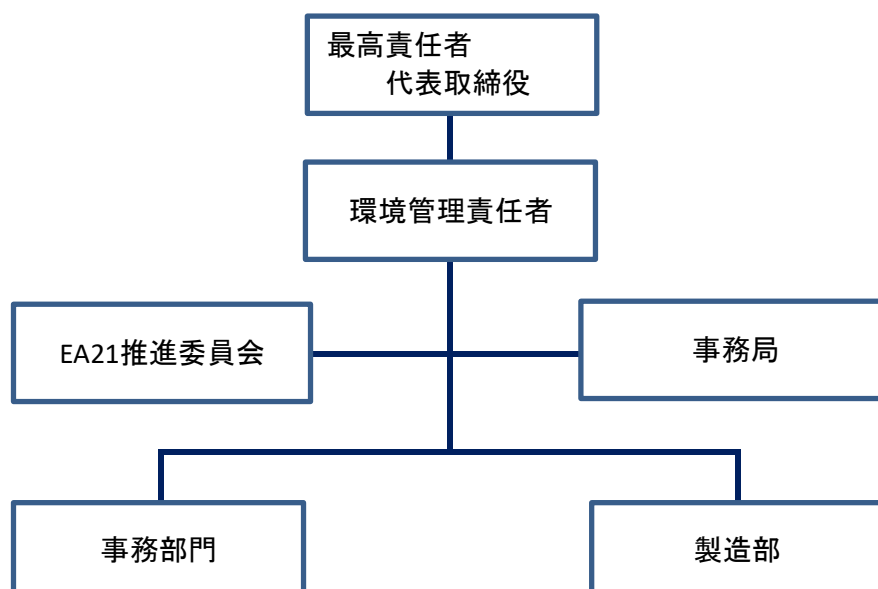
4月～翌年3月

(7) 認証・登録の範囲

全組織・全活動

3. エコアクション21 推進組織

株式会社テクノカット 実施体制図及び役割・責任・権限



職 名	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
最高責任者	【代表取締役社長 長岡 昭男】 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。
	エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。
	環境方針を制定する。
	エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【塩野 満明】 エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【富田 幸生 ・ 大川 龍喜】 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
EA21推進委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境目標及びその実績

項 目	年 度	基準値	目標	2021年度	2022年度	中長期 2023年度	管理項目実施事項
		2017年		(実績)	(実績)	(目標)	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	111,427	111,427	93,550	79,655	111,427	空調温度の適正化・表示
	kg-CO2/売上100万円	1,281	1,281	1,565	1,306	1,281	生産工程の待機時間短縮
	削減率			22.25%増	1.94%増		照明は不必要な物は消灯
	評価			×	×		空気圧縮機のエア漏れ点検
廃棄物の削減	kg	254,800	254,800	97	117,240	254,800	コピーはサイズを基準にして両面使用する。
	kg/売上100万円	2,172	2,172	2	1,921	2,172	
	削減率			25.27%減	11.52%減		
	評価			○	○		
節水	m³	85	85	49	49	85	
	m³/売上100万円	0.7	0.7	1	1	1	
	削減率			13.19%増	10.85%増		
	評価			×	×		
本業に関する目標	サイクルタイムの見直し	—	—	—	—	—	・生産性や品質に与える影響を考慮し検討をする。
	流出不良削減	0	0	1	1	0	・不良発生による再生産によるエネルギー及びマテリアルのムダをなくす。

※二酸化炭排出量を算出する際に用いた購入電力の排出係数は0.462です。

東京電力エナジー
パートナー株式会社

2017年

 株式会社 テクノカット

5. 環境活動計画の取組と評価

(2021年4月から2022年3月までの実績)

取組計画	評価(結果と次年度の取組内容)
二酸化炭素排出量の削減	
目標:2017年度実績現状維持する。	1.94%増 × ・材料遅れなどで、生産の平準化が出来ず、待機電力や夜間生産にて増えてしまった。
廃棄物の削減	
目標:2017年度実績現状維持する。	11.52%減 ○ 目標に対し、11.52%減少した。 ・経営年度と廃棄物排出のタイミングがズレたことによる。 ・廃棄物の多く出る材料の生産が、減少したため。
節水	
目標:2017年度実績現状維持する。	10.85%増 × 目標に対し、10.85%増加した。 ・水溶性切削油を使用する加工が増加したため。
化学物質	
適切に管理する	○ ・水溶性切削油などは使用しているため、SDSは人手し継続して管理する。
製品への環境配慮	
生産性向上による省資源化に努める	○ ・生産工程は単純であり、ほぼ不良の発生もない。 また、材料についても無償支給が多いで、本業に関する目標は設定しづらいが、切断のサイクルタイムなど見直せる余地があるものについては対応していく。

(評価基準)

◎: 大幅に達成 ○: 達成 △: 未達 ×: 大幅に未達

6. 環境活動



❏ 環境美化

毎月最終木曜日の朝に、工場敷地内をはじめ、工場周辺の美化活動を実施しています。

近隣の住民の方にも喜ばれています。

消火設備使用方法説明 ❏



❏ **2022.04.09**

工場内照明をLEDに変更



7. 環境関連法規制の遵守

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)	遵 法
騒音・振動規制法	空圧機	遵 法
消防法(危険物)	軽油、灯油	遵 法
Nox・PM法	トラック	遵 法
フロン排出抑制法	空圧機(エアドライヤー)	遵 法
浄化槽法	浄化槽の定期点検、11条検査	遵 法

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、環境に関する訴訟、苦情等は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し(総評)

2022/04/22に工場内電灯をLEDに変更、結果約1割の電気使用量削減となった。このようにハード面の対策を強化し、環境・安全を考慮した工場経営を実現する。

まだ依然として生産量がコロナ以前に戻らず厳しい状況である。今後も効率のよい生産を心掛ける。